

全国養護教諭
連絡協議会NO.62
会報平成23年3月 発行
全国養護教諭連絡協議会
代表者 堀田 美枝子
東京都港区芝公園 2-6-8
日本女子会館 5階
TEL.:03(3433)5767
FAX.:03(3433)5768全国養護教諭連絡協議会ホームページアドレス <http://www.yougo.jp>

東北地方太平洋沖地震及び大津波の被害に遭われた地域の皆様に心からお見舞い申し上げます

さらなる飛躍の年に

全国養護教諭連絡協議会 副会長 米元 まり子



会員の皆様には、日頃より本会の運営等につきまして、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。また、2月25日に開催しました第16回研究協議会に、多くの皆様のご参加をいただき、盛会裏に終了できましたことにつきましても、重ねて御礼申し上げます。

平成21年4月の学校保健安全法施行を機に、この改正の大きな柱である、養護教諭が学校保健の中核的な役割を果たすことについて、本研究協議会のフォーラムは過去3年にわたってその役割を追究してきたところであります。

子どもたちが直面している健康課題が、複雑化、多様化、深刻化している今日、特に私たち養護教諭の職務は、新たな取組を求められるなど、その期待が高まる中、多忙感や重圧感などからいろいろな場面でご苦労を実感されていることと思います。

また、本会が毎年、各研究会のご協力のもと、実施しております「養護教諭の職務に関する調査」におきましても、「健康相談」で小・中・高等学校・特別支援学校の養護教諭が抱えている共通の悩みとして、心の健康問題の増加・多様化が最も多い課題となっていました。それに伴い各校種とも、「時間の確保が難しい」ことが挙げられていました。更に、養護教諭が他の教職員から相談を受けたことがあると回答した割合は、75%を超えていました。その内訳は、児童生徒の心身の健康に関するものの外に、教職員自身に関するものが約55%を占め、そのうち、仕事に対する悩みが約38%を占めていました。この数値は、教職員の多忙さを示しているものと思われます。一方、保護者から相談を受けた割合は、約82%となっており、その内訳は、子どもの心身の健康問題の外に、保護者自身に関することや家族のことなど、複雑多岐になっています。

皆様方からいただいた調査結果をもとに、全養連では、養護教諭の役割や期待が高まる中、毎年文部科学省に対しまして、養護教諭の複数配置等について重ねてお願いをしているところです。会員の皆様には、今後とも調査へのご協力のほど、引き続きよろしく申し上げます。

さて、平成3年に発足した全国養護教諭連絡協議会は、本年20周年を迎えます。この間、保健主事への登用、兼職発令を受けての保健の授業への参加、複数配置基準の改善などの成果は、諸先輩方が大変ご苦労されて各関係機関等に働きかけてくださった賜物と感謝しています。私たち役員一同、諸先輩方が築いてくださった土台をさらに充実発展させていく責任を感じつつ、努力をしまいたいと思っています。どうぞ今後とも、ますますのご協力とご支援を、お願いし、巻頭の挨拶とさせていただきます。

文部科学大臣表彰

祝

第60回全国学校保健研究大会 表彰式にて
(平成22年11月18日 於：前橋市)

小笹 典子先生 (秋田県)、高橋由美子先生 (福島県)、白田 絹子先生 (茨城県)、鎌倉ひろみ先生 (東京都)、井出千恵子先生 (新潟県)、宮田 順子先生 (山梨県)、高橋 悦子先生 (岐阜県)、村田 範子先生 (滋賀県)、西脇美佐子先生 (大阪府)、吉田 順子先生 (兵庫県)、上村 雅代先生 (奈良県)、山根 優子先生 (鳥取県)、平松 恵子先生 (岡山県)、柳原ひとみ先生 (広島県)、稲毛美智子先生 (香川県)、江口 壽子先生 (佐賀県)

受賞おめでとうございます!